

臨床試験概要 【JPLSG-AML-D16】

1. 研究代表者(氏名、施設)

多賀 崇、国立大学法人 滋賀医科大学医学部附属病院 小児科

2. 研究事務局(氏名、施設)

長谷川大輔、学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院 小児科

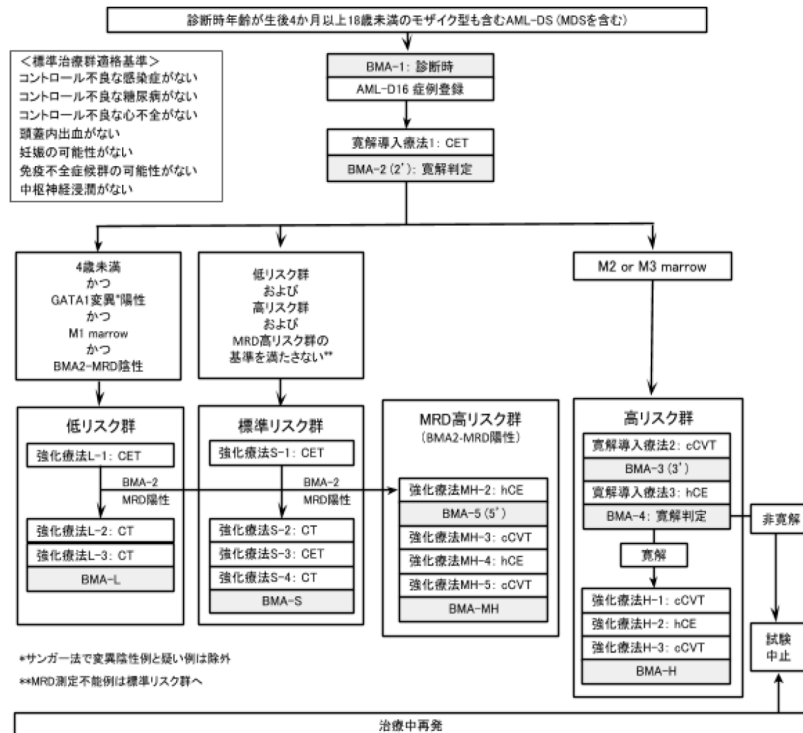
3. 目的

AML-D16 臨床試験では、治りやすい特徴を有する「低リスク群」の患者さんに対して化学療法を1コース減らすことによって安全な治療で治療が得られることを目指します。また、微小残存病変（MRD）検査という治療反応性を評価する鋭敏な手法によって、1コース目の治療後に白血病細胞がわずかに残っていると考えられた患者さんを「MRD 高リスク群」として強化した治療を行うことで治療成績の改善を目指します。

4. 対象

4か月以上18歳未満のダウン症候群（モザイク型を含む）に発症した急性骨髄性白血病初発診断症例

5. 治療(シエマ可)



6. 予定登録数と研究期間

予定登録数：80 例

予定登録期間：3 年

追跡期間：登録期間終了後 3 年

総研究予定期間：7.5 年（2019 年 6 月～2026 年 11 月予定）

7. 問い合わせ先

研究代表者：多賀 崇

国立大学法人 滋賀医科大学医学部附属病院 小児科 病院教授

研究事務局：長谷川 大輔

学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院 小児科 医長